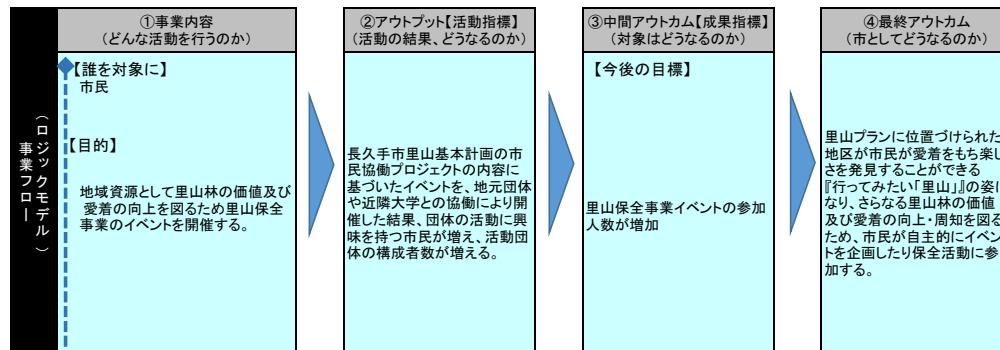


長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	49	事業名	緑化振興事業	担当部課	建設部みどりの推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		決算書 ページ	一
	行政改革指針・重点課題	一		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款－項－目)
	その他(関係計画、要綱等)	有	・長久手市里山プラン・長久手市里山基本計画 ・みどりの推進計画・緑の基本計画		5-1-5 緑化振興費
	事業開始の背景、経緯等	手入れや管理が行き届かず放置された山林においては、廃棄物の不法投棄、倒木に伴う周辺への損害等周辺地域への悪影響が懸念されている。そのためこれらの山林を適切に管理できる仕組みを整え、里山を保全・活用し、市民が快適、安全に生活できることが求められている。			
	市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)		



コスト推移	項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	事業費(A)	千円	予算	19,524	17,476	1,339	2,653	1,142
			決算	8,577	4,564	895	1,964	-
	人件費(B)	千円	決算	8,858	4,628	4,317	4,595	-
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	17,435	9,192	5,212	6,559	-
	事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		58,545	57,466	60,035	60,352	60,771
	対象あたりコスト(C/D)の 過去2年平均値	千円		0	0	0	0	0

振 り 返 り	事業開始からの経緯など	平成31年3月に策定した「長久手市里山基本計画」に基づき、市民主体での適切な里山保全・活用が図られるることを目的としている。まずは、関心のある市民を増やすことで、組織化に繋げていきたいと考えている。令和4年度については、ブレーカーについて興味のある人材の発掘ができ、試行を実施することとなった。
	令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) イベントの内訳としては、落ち葉焚きと彫刻のイベント(26人)、ブレーカーの試行会計3回(延べ99人)、里山散策会(地元団体協働)(18人)、里山講演会計4回(地元団体協働)(延べ17人)、ザギハニ釣りイベント(近隣大学及び地元団体協働)(26人)。 ザギハニ釣りイベントについては、愛知県立大学からのイベント提案を受け、みなみ里山クラブがサポートして実施した。協力してくれたお礼として学生さんは、みなみ里山クラブのイベント等の手伝いも可能な範囲で手伝うの申し出もあった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 各イベントの参加者に対してアンケート調査を行い、里山の保全活動に興味をもつ人材を発掘する。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性)
		より多くの市民が参加し、里山に愛着を持ってもらえるようなイベントを地元住民と共に実施する。令和7年度までに市民団体の拡充と、さらなる市民団体による里山の保全、利活用を目指す。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	里山保全管理活用事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	(1) 地元団体及び近隣大学との協働により開催したイベント回数	回	見込	4	5	5	6	6
			実績	4				
(2) 【アクションプラン】里山整備面積[累計]	m ²	見込	7,000	7,000	9,500	9,500	9,500	
		実績	7,000					
(3) 里山保全活動を行っている団体の構成人数	人	見込	25	27	29	31	33	
		実績	25					